

あなたの知らない

# ダイヤモンドの真実

AR

ANSHINDO ROYAL DIAMOND

安心堂ロイヤルダイヤモンド(ARD)が誕生したのは25年以上前。その背景には、「本当に美しいダイヤモンド」をご紹介することで、当時横行していた“4C神話”“鑑定書神話”に一石を投じたいというジュエラーとしての使命感がありました。

45億年もの時を旅して奇蹟のような美しさを身に纏ったダイヤモンド。

“その美しさは「原石の質」と「理想的なプロポーション」で決まる。”

そこで安心堂がパートナーに選んだのが、

「世界三大カットングブランドの1つラザール・キャプラン社」です。

四半世紀を超えて普遍の輝きを放つ

最高峰のダイヤモンド。

その輝きに込めた

祝福のメッセージを受け取ってください。



## 安心堂とブライダル専門店の違い

- 厳格な品質基準と品質管理をクリアした商品を適正価格でご紹介します。
- ジュエリー全般の専門知識を持ったスタッフが丁寧にご説明いたします。
- アフターケアを一番考えたお店です。
- 豊富な商品数の中からお選びいただけます。

## 「4Cの評価には“幅”がある」という真実

ダイヤモンドの評価は一般にカラー(色)、カット(形)、クラリティ(透明度)、カラット(重さ)の「4C」で表されます。ところがこのグレード(評価)には“幅”があること、そのためたとえ同じグレードでも輝きに優劣が生まれることは、意外に知られていません。

ARDの評価は、下がることはありません。

ARDは「DカラーとFカラーの間であればFカラー」と評価します。これはカットでもクラリティでも同じ。つまりARDは、鑑定書に記載されている評価よりも上のグレードに限りなく近い、ということになります。4Cがダイヤモンドの価格決定の基準として使われている現在、「同じ価格でより高品質なものをお届けしたい」という、ジュエラーのプライドです。

## 「原石の質が輝きを決める」という真実

ダイヤモンドの輝きと品質を左右するのは原石のクオリティです。どんなに優れた研磨技術でも、原石が良くなければ輝きは鈍くなります。カットの善し悪しは、同様の品質の原石から研磨された場合の優劣を左右しますが、クオリティの低い原石に優れたカットを施しても“美しい輝き”は得られないことを覚えておいてください。

ARDの原石はすべて宝石品質です。

採掘されるダイヤモンド原石の50%が宝飾用に使われていますが実は、その中の60%は「ニアジェム」と呼ばれ以前は、宝飾品にならなかったものです。安心堂は全産出量のわずか10%に限られる「ジェムクオリティ」を求め続けています。

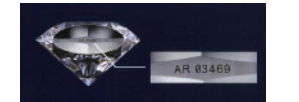


## 「鑑定書は価値を保証しない」という真実

鑑定書という名称は日本だけのもので、正式名称は「ダイヤモンドグレーディングレポート」といいます。これはダイヤモンドの個性を記載した報告書で、美しさを評価するものでも保証するものでもありません。そのお店が販売したダイヤモンドの品質に責任を持つことを約束する「保証書」こそが大切です。

IDナンバーと保証書のWで保証

原石からIDナンバーで管理されるARDは1点ごとにガードル部分に「IDナンバー」が刻印され、同時に安心堂発行の保証書にもIDナンバーを記載します。世界でただひとつ、永遠に消えることのない刻印はダイヤモンドの品質を永久に保証する約束です。



## 花嫁の幸せを祝福するティアラ

古代ギリシャでは、星空は神々がいる聖なる場所と信じられ、人々は重大な決断を行う時に星空の下に集まって誓いを立てていました。やがて、誓いの場は室内での儀式となり、星空に見立てた「シャンドリア」が生まれ、星空への祈りを込めた冠「ティアラ」をつくりました。ティアラに宝石が散りばめられているのは、星空をイメージしているから。神々から祝福と繁栄が授けられ、永遠の愛を誓うという意味が込められた冠。それが花嫁のティアラです。



婚約指輪もしくは結婚指輪をお買い上げの方に、時価4千万以上のティアラをはじめ、9タイプのオリジナルティアラを、挙式当日無料でお貸しします。

「安心堂オリジナルティアラ」は自社ジュエリー工房で、全て本物の宝石と貴金属を使用して製作しました。

お二人の写真を基に職人さんが丁寧に作ったオリジナルフィギュアをブライダル記念品総額30万以上お買い上げの方にプレゼント。「ウェルカムドール」としてもお使いください。



ブライダル記念品を総額20万以上お買い上げの方に「高級リングピロー」又は「アリタジュエル豆皿」プレゼント。

